

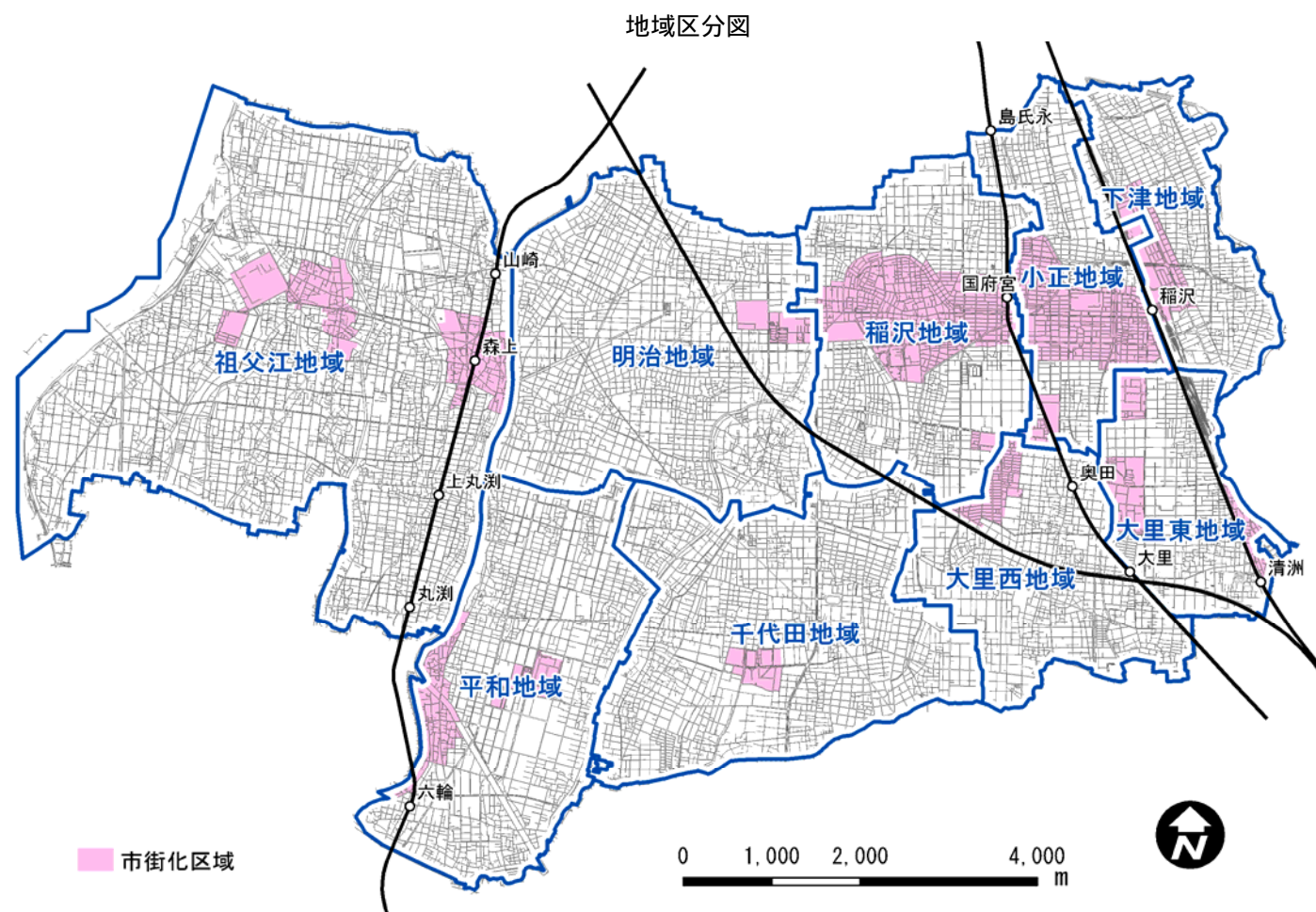
第5章 地域別構想

1. 地域区分

地域別構想は、市全体の都市づくりの方針となる「全体構想」を踏まえつつ、地域の特性を考慮し、身近な地域レベルでのまちづくり方針を定めるものです。

地域の区分については、市域形成の歴史的経緯、地域の中心となる施設の存在、行政運営上のまとまりなどから、支所及び市民センター地区を1つの地域とし、祖父江地域、平和地域、明治地域、千代田地域、大里西地域、大里東地域、下津地域、小正地域、稲沢地域の9地域に区分しました。

なお、地域別構想の策定にあたっては、「地域別ワークショップ」を開催して地域住民の意見を集約し、全体構想との整合性や実現性、都市計画上の観点から地域別の方針をとりまとめました。



【地域交流拠点のイメージについて】



地域交流拠点A：市街化区域に位置する鉄道駅周辺

鉄道駅周辺に日常生活と密接に関連する買い物、医療、福祉といった都市機能の立地促進
空き家の活用や地区計画などによる定住人口の維持

地域交流拠点B：市街化調整区域に位置する鉄道駅周辺

空き家の活用や地区計画などによる定住促進

地域交流拠点C：市街化区域に位置する市民センター周辺

公共公益施設の維持
空き家の活用や地区計画などによる定住人口の維持

地域交流拠点D：市街化調整区域に位置する市民センター周辺

公共公益施設の維持
空き家の活用や地区計画などによる定住促進

2. 地域別の方針

(1) 祖父江地域

地域特性

祖父江地域は、市の西部に位置し、木曾川を挟んで岐阜県羽島市に隣接しています。
 地域中央に領内川、東部に日光川が流れ、その間を名鉄尾西線が通っています。
 地域全体に水田が広がっていますが、地域北東部の山崎地区周辺では特産品である銀杏を生産しており、特徴ある景観を形成しています。

祖父江地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

	祖父江地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積 (ha)	2,213	7,935	27.9%
市街化区域	面積 (ha)	152	16.9%
	割合	6.9%	-4.5%
人口 (人)	21,405	137,432	15.6%
H18-28人口増減率	-4.8%	7.1%	-11.9%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	11.5%	-1.7%
	15~64歳	58.4%	-2.0%
	65歳~	30.1%	3.7%
世帯数 (世帯)	7,770	53,854	14.4%
H18-28世帯増減率	11.7%	19.7%	-8.0%
世帯当たり人員 (人/世帯)	2.75	2.55	0.20

人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

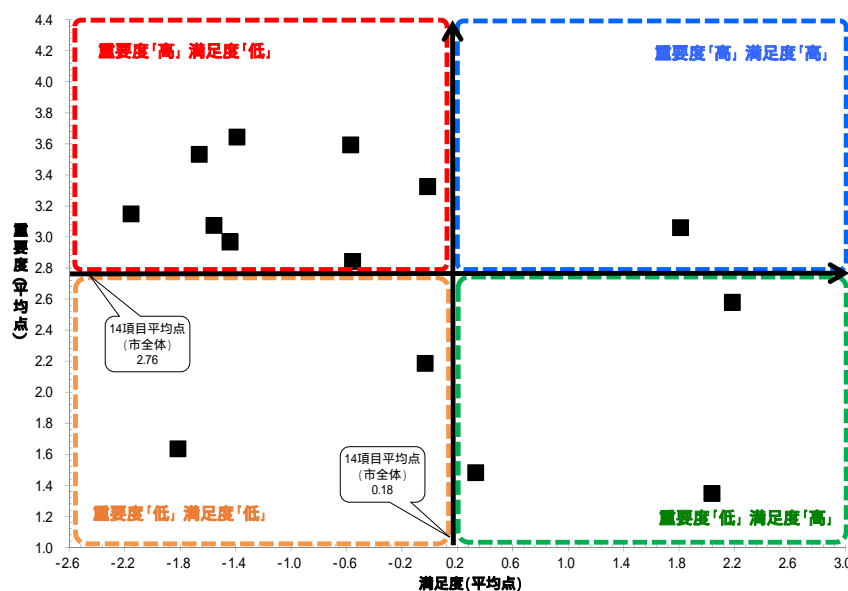
資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「鉄道やバス交通の便利さ」「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」などがあげられます。
 満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」「水や空気の良いさ」があげられます。

祖父江地域における評価



静かで落ち着いた住環境
買い物の便利さ
鉄道やバス交通の便利さ
幹線道路での移動のしやすさ
身近な生活道路の安全や使いやすさ
歩道の安全や心地よさ
街なかや集落内の緑の多さ
歩いて行ける身近な公園
街なかや集落の風景の美しさ
地震や水害に対する備え
避難場所や避難路の確保
水や空気の良いさ
医療や福祉施設の利用のしやすさ
防犯面での安心感

地域の現状と課題

サリオパーク祖父江をはじめとした地域資源を生かした交流促進
 木曾川に面してサリオパーク祖父江が整備され、珍しい河岸砂丘や松林とあいまって特徴的な公園となっています。また、ウインドサーフィンなどの水面利用によるレクリエーションが行われています。
 祖父江のイチョウ、祖父江善光寺東海別院といった歴史や景観に関わる地域資源が分布しています。

人口減少・高齢化に対応した良好な住環境と生活利便性の確保
 人口は過去10年間で約4.8%減少しています。
 高齢化率は30.1%であり、市平均と比較しても高い割合になっています。
 「静かで落ち着いた住環境」に対する満足度が高くなっています。また、「街なかや集落内の緑の多さ」「水や空気の良いさ」に対する満足度も高く、地域の住環境や自然環境に対する満足度が高いことが伺えます。

名鉄尾西線を生かした公共交通網の形成
 地域東部に名鉄尾西線が通っているものの、名古屋駅から約10分圏の名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅とは距離が離れており、地域の評価をみても「鉄道やバス交通の便利さ」の満足度が低くなっています。

浸水災害等に対する防災・減災への対応
 「地震や水害に対する備え」に対する満足度が低くなっています。
 浸水災害が地域全域で想定されています。

地域のまちづくり目標

サリオパーク祖父江や銀杏畑をはじめとする地域資源を生かし、たくさんの方が訪れ、楽しめるまちづくりを目指します。
 静かで落ち着いた居住環境を維持しつつ、祖父江支所を中心とした快適な生活を送ることができるまちづくりを目指します。
 地域公共交通などによるアクセス利便性が向上するまちづくりを目指します。
 浸水災害などから地域を守る安心・安全なまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

- 【地域交流拠点】
 公共施設が集積している祖父江支所周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。
 市街化区域に立地する名鉄森上駅の周辺では、生活利便性の向上のため、日常生活に関連する買い物、医療、福祉といった都市機能の立地を推進し、空き家の活用や地区計画などにより定住人口の維持を図ります。
 市街化調整区域に立地する鉄道駅(名鉄山崎駅、名鉄上丸淵駅、名鉄丸淵駅)の周辺では、鉄道の利便性を生かして、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。
- 【工業・物流拠点】
 生産・物流機能の集積を図ります。
- 【広域レクリエーション拠点】
 自然環境に恵まれたサリオパーク祖父江の特色を生かして、交流を促進します。
- 【歴史・観光拠点】
 祖父江善光寺東海別院周辺において交流の促進を検討します。

土地利用

- 【住宅地】 良好な住環境の維持・保全に努めます。
- 【商業地】 生活利便性を支える商業機能の維持を図ります。
- 【工業地】 地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上を図ります。
- 【市街化調整区域】 営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

- (都)祖父江稲沢線の整備を促進します。
 各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

- サリオパーク祖父江のレクリエーション機能の充実を図ります。
 (仮称)イチョウ見本園を整備します。
 銀杏畑や植木畑の保全に努めます。
 新たに立地する工場の緑化を促進します。
 木曾川やイチョウを生かした散策路を活用します。
 広口池及び領内川の散策路の利用を促進します。
 河川の水質保全に努めます。
 下水道の整備を推進します。

防災

- 狭あい道路の解消について検討します。
 国・県管理河川における治水機能の適切な維持管理について働きかけを行います。

景観

- 木曾川を生かした景観の保全を図ります。
 銀杏畑や田園等の農地景観の保全を図ります。

祖父江地域

- 自然環境の特色を生かした交流促進
- サリオパーク祖父江のレクリエーション機能の充実
- サリオパーク祖父江へのアクセス向上
- 地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上

- 生産・物流機能の誘導による工業集積
- 既存工業地における操業環境の保全

○広口池及び領内川の散策路の利用促進

○(仮称)イチョウ見本園の整備

○空き家の有効活用や地区計画などによる定住促進を検討

○祖父江善光寺東海別院周辺の交流促進を検討

○下水道整備の推進

○都市機能の立地促進
○空き家の活用や地区計画などにより定住人口を維持

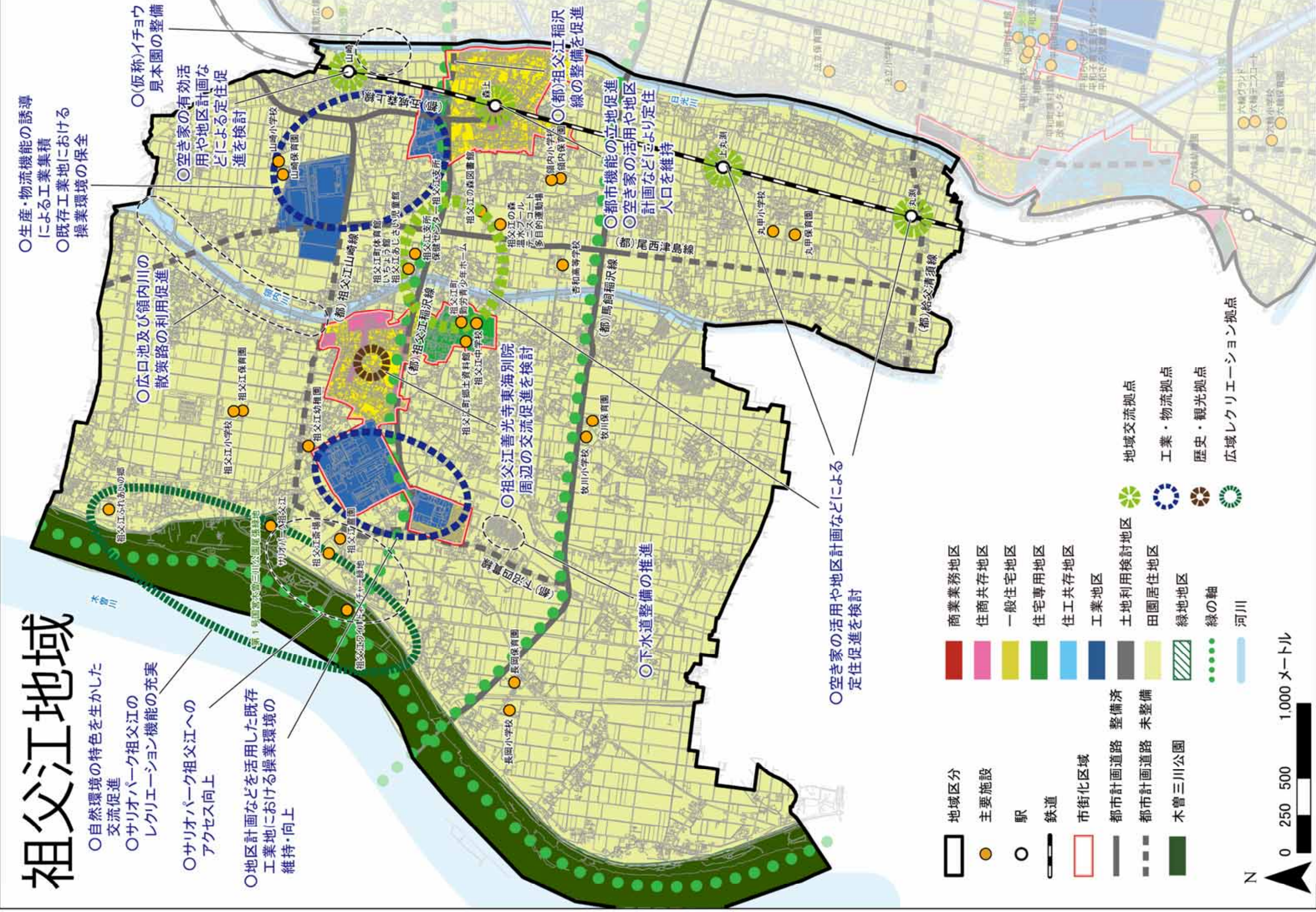
○(都)祖父江稲沢線の整備を促進

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

地域区分	商業業務地区	地域交流拠点
主要施設	住商共存地区	工業・物流拠点
駅	一般住宅地区	歴史・観光拠点
鉄道	住宅専用地区	広域レクリエーション拠点
市街化区域	住工共存地区	
都市計画道路 整備済	工業地区	
都市計画道路 未整備	土地利用検討地区	
木曽三川公園	田園居住地区	
	緑地区	
	緑の軸	
	河川	

N

0 250 500 1,000メートル



(2) 平和地域

地域特性

平和地域は、市の南西部に位置し愛西市に隣接しています。日光川、三宅川に囲まれ、地域の中心部を流れる須ヶ谷川を中心に豊かな田園が広がる地域です。

須ヶ谷川下流の河川沿いには桜並木「桜ネックレス」があり、地域のシンボルとして親しまれています。

地域の中央には大規模な工場が立地する平和工業団地があります。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

	平和地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)	884	7,935	11.1%
市街化区域	面積(ha)	86	898
	割合	9.7%	11.3%
			-1.6%
人口(人)	12,615	137,432	9.2%
H18-28人口増減率	-2.8%	7.1%	-9.9%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	11.8%	13.2%
	15~64歳	57.2%	60.4%
	65歳~	31.0%	26.4%
			-4.6%
世帯数(世帯)	4,650	53,854	8.6%
H18-28世帯数増減率	10.0%	19.7%	-9.7%
世帯当たり人員(人/世帯)	2.71	2.55	0.16

人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

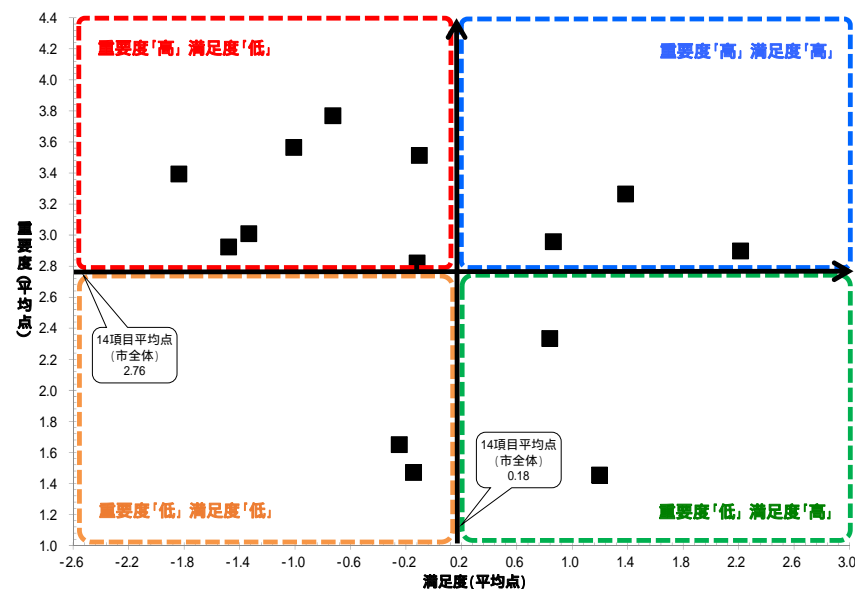
地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「地震や水害に対する備え」「避難場所や避難路の確保」「防犯面での安心感」「医療や福祉施設の利用のしやすさ」などがあげられます。

満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「水や空気の良いさ」「街なかや集落内の緑の多さ」「買い物の便利さ」「幹線道路での移動のしやすさ」があげられます。

平和地域における評価



静かで落ち着いた住環境
買い物の便利さ
鉄道やバス交通の便利さ
幹線道路での移動のしやすさ
身近な生活道路の安全や使いやすさ
歩道の安全や心地よさ
街なかや集落内の緑の多さ
歩いて行ける身近な公園
街なかや集落の風景の美しさ
地震や水害に対する備え
避難場所や避難路の確保
水や空気の良いさ
医療や福祉施設の利用のしやすさ
防犯面での安心感

地域の現状と課題

人口減少・高齢化に対応した良好な住環境の維持

人口は過去10年間で約2.8%減少しています。

高齢化率は31.0%であり、市平均と比較しても高い割合になっています。

「静かで落ち着いた住環境」「買い物の便利さ」などに対する満足度が高くなっています。

良好な交通条件を生かした産業振興

地域の中央には平和工業団地が立地しています。

南北に(都)一宮弥富線、東西に(都)給父西枇杷島線が通っており、交通便利性に恵まれた状況にあります。

桜ネックレスや勝幡城址など地域資源を生かした交流促進

須ヶ谷川下流の河川沿いには桜並木「桜ネックレス」があり、地域のシンボルとして親しまれています。

地域南東部に位置する勝幡城址をはじめ歴史に関わる地域資源が多く分布しています。

浸水災害等に対する防災・減災への対応

「地震や水害に対する備え」「避難場所や避難路の確保」に対する満足度が低くなっています。

浸水災害が地域全域で想定されています。

地域のまちづくり目標

落ち着いた良好な住環境や生活利便性を維持するとともに、平和支所や名鉄六輪駅を中心とした快適な生活を送ることができるまちづくりを目指します。

幹線道路の利便性を生かし、更なる工業集積による活力あるまちづくりを目指します。

桜ネックレスや勝幡城址などをはじめとする地域資源を生かしたまちづくりを目指します。

浸水災害などから地域を守る安心・安全なまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針

: 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【地域交流拠点】

公共公益施設が集積している平和支所周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

市街化調整区域に立地する名鉄六輪駅の周辺では、鉄道の利便性を生かして、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

【工業・物流拠点】

生産・物流機能の集積を図ります。

土地利用

【住宅地】 良好な住環境の維持・保全に努めます。

暫定用途地域を見直します。

【商業地】 生活利便性を支える商業機能の維持を図ります。

【工業地】 既存工業地における操業環境の維持を図ります。

【市街化調整区域】 営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

(都)巡見街道において安全で利用しやすい道路整備を検討します。

都市環境

桜ネックレスと勝幡城址の連携など、地域資源の活用方法を検討します。

特徴的な緑である桜ネックレスの保全を図るとともに、分断の解消や延長を検討します。

新たに立地する工場の緑化を促進します。

一部未供用となっている平和中央公園の見直しを検討します。

河川の水質保全に努めます。

防災

県管理河川における治水機能の適切な維持管理について働きかけを行います。

都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

桜ネックレスの優れた景観の保全に努めます。

農地景観の保全を図ります。

平和地域

- 商業務地区
- 住商共存地区
- 一般住宅地区
- 住宅専用地区
- 住工共存地区
- 工業地区
- 土地利用検討地区
- 田園居住地区
- 緑地地区
- 緑の軸
- 河川
- 地域交流拠点
- 工業・物流拠点

○空き家活用や地区計画などによる定住促進を検討

○暫定用途地域の
見直し

○安全で利用しやすい道路
整備の検討

○空き家の活用や地区計画
などによる定住促進を検討

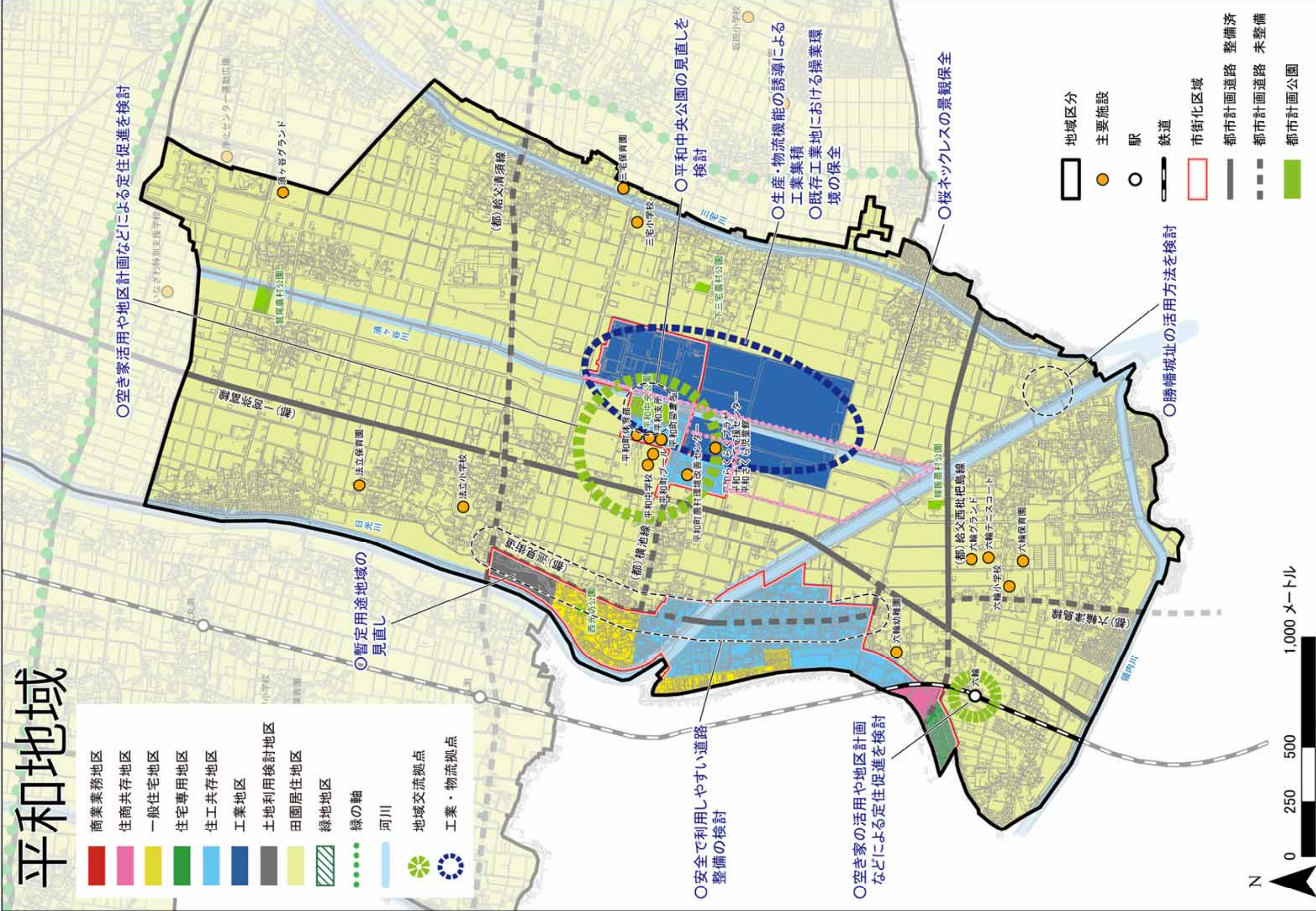
○平和中央公園の見直しを
検討

○生産・物流機能の誘導による
工業集積
○既存工業地における操業環
境の保全

○桜ノックスの景観保全

○勝幡城址の活用方法を検討

- 地域区分
- 主要施設
- 駅
- 鉄道
- 市街化区域
- 都市計画道路 整備済
- 都市計画道路 未整備
- 都市計画公園



(3) 明治地域

地域特性

明治地域は、市の中央部に位置し一宮市に隣接しています。
 地域東側にある稲沢市役所周辺においては、公共施設や大規模商業施設、高層住宅が立地しています。
 地域全体としては農地と集落が広がっています。
 地域南部を三宅川が流れ、その周囲に植木畑が広がっています。
 史跡尾張国分寺跡や古くからの社寺が点在しています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

	明治地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)	1,115	7,935	14.0%
市街化区域	面積(ha)	30	898
	割合	2.7%	11.3%
人口(人)	13,513	137,432	9.8%
H18-28人口増減率	-2.6%	7.1%	-9.7%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	11.6%	13.2%
	15~64歳	61.4%	60.4%
	65歳~	27.0%	26.4%
世帯数(世帯)	4,910	53,854	9.1%
H18-28世帯増減率	14.1%	19.7%	-5.6%
世帯当たり人員(人/世帯)	2.75	2.55	0.20

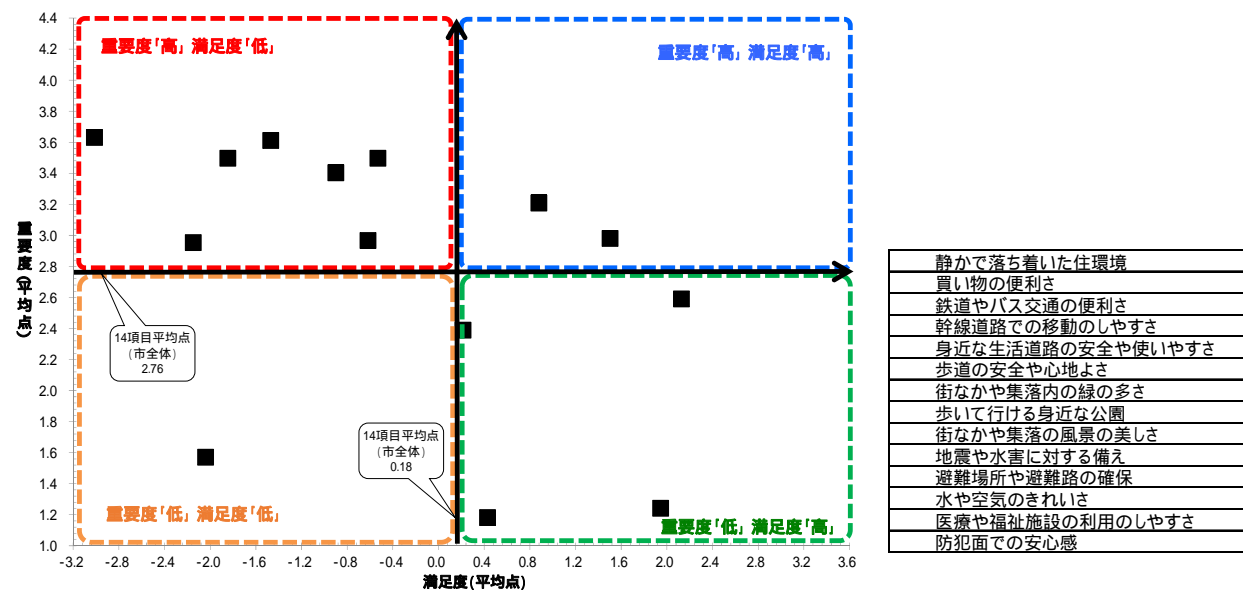
人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価 市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は、「鉄道やバス交通の便利さ」「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」などがあげられます。
 満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」「水や空気のきれいさ」があげられます。

明治地域における評価



地域の現状と課題

史跡尾張国分寺跡をはじめとする歴史的資源を生かした交流促進
 地域南東部に位置する史跡尾張国分寺跡をはじめ歴史的価値の高い
 地域資源が分布しています。

集落地における住環境の維持
 地域の大部分が市街化調整区域であり、集落が点在しています。
 人口は過去10年間で約2.6%減少しています。
 「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」などに対する満足度が高くなっています。

地域東部に集積する都市機能の維持
 地域東部の市街化区域において、公共公益施設や大規模商業施設、
 高層住宅が集積しています。

三宅川や植木畑などの地域特有の自然環境の保全
 地域全体に農地が分布しています。
 蛇行して流れる三宅川があり、その周囲に植木畑が広がっています。

地域のまちづくり目標

史跡尾張国分寺跡をはじめとする地域資源を生かしたまちづくりを目指します。

明治市民センター周辺に住宅地形成を図るまちづくりを目指します。
 市役所周辺において都市機能の集積が維持できるまちづくりを目指します。

植木畑などの地域特有の自然環境に配慮したまちづくりを目指します。

地域の整備方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

- 【生活交流拠点】
公共公益施設や商業施設などの都市機能の維持を図ります。
- 【地域交流拠点】
明治市民センター周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。
- 【工業・物流拠点】
隣接する一宮市の工業系土地利用と整合を図り、立地特性を生かした産業立地を推進します。
- 【歴史・観光拠点】
史跡尾張国分寺跡周辺において緑の軸を生かした交流の促進を図ります。

土地利用

- 【住宅地】
良好な住環境の維持・保全に努めます。
- 【商業地】
商業施設などの集積の維持を図ります。
- 【市街化調整区域】
営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

- (都)祖父江稲沢線の整備を促進します。
- 国・県へ一宮西港道路の整備について働きかけを行います。
各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。
都市中心拠点とのアクセス利便性の向上に努めます。

都市環境

- 矢合地区において、地場産業の緑である植木畑の保全・活用に努めます。
- 大塚井筋において散策路の整備を促進します。
- 史跡尾張国分寺跡を史跡公園として整備します。
- 旧尾張サイクリングロードの活用を検討します。
- 河川の水質保全に努めます。

防災

- 県管理である三宅川の改修促進について働きかけを行います。
- 都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

- 矢合地区における自然景観の保全を図ります。
- 史跡尾張国分寺跡の保全と活用を図ります。
- 農地景観の保全を図ります。

明治地域

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 緑の軸 | 商業業務地区 | 地域区分 |
| 河川 | 住商共存地区 | 主要施設 |
| 生活交流拠点 | 一般住宅地区 | 駅 |
| 地域交流拠点 | 住宅専用地区 | 鉄道 |
| 工業・物流拠点 | 住工共存地区 | 新幹線 |
| 歴史・観光拠点 | 工業地区 | 市街化区域 |
| | 土地利用検討地区 | 都市計画道路 整備済 |
| | 田園居住地区 | 都市計画道路 未整備 |
| | 緑地地区 | 都市計画公園 |

○立地特性を生かした産業立地の推進

○旧尾張サイクリングロードの活用を検討

○(都)祖父江稲沢線の整備を促進

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

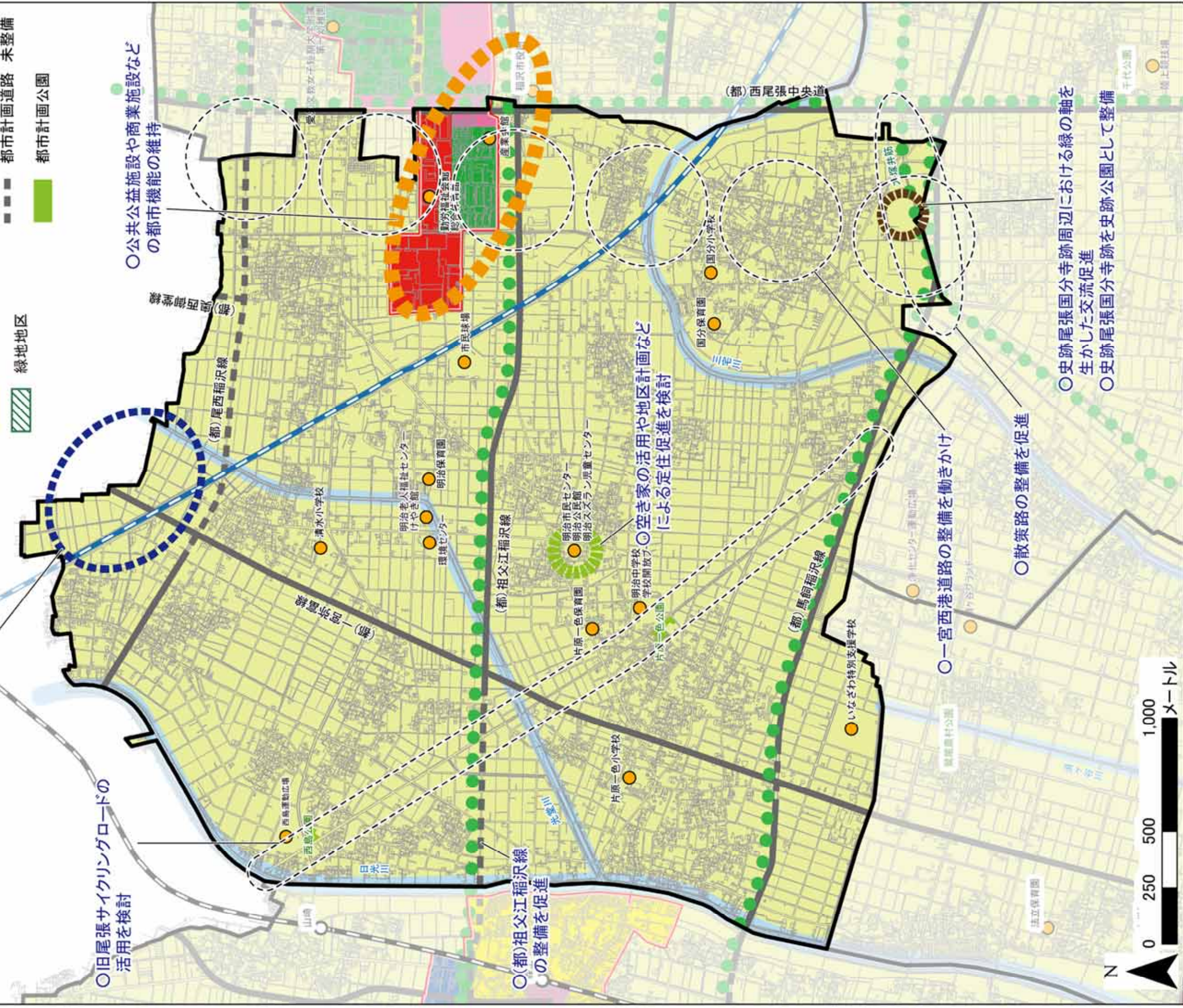
○一宮西港道路の整備を働きかけ

○散策路の整備を促進

○史跡尾張国分寺跡周辺における緑の軸を生かした交流促進

○史跡尾張国分寺跡を史跡公園として整備

○公共施設や商業施設などの都市機能の維持



(4) 千代田地域

地域特性

千代田地域は、市の南部に位置し、あま市、愛西市に隣接しています。全体に水田が広がっており、自然豊かな地域となっています。地域の中心には、工業団地や大規模工場が立地しています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

		千代田地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)		1,072	7,935	13.5%
市街化区域	面積(ha)	23	898	2.6%
	割合	2.1%	11.3%	-9.2%
人口(人)		8,082	137,432	5.9%
H18-28人口増減率		-0.6%	7.1%	-7.7%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	14.2%	13.2%	1.0%
	15~64歳	56.3%	60.4%	-4.1%
	65歳~	29.5%	26.4%	3.1%
世帯数(世帯)		3,006	53,854	5.6%
H18-28世帯数増減率		14.6%	19.7%	-5.1%
世帯当たり人員(人/世帯)		2.69	2.55	0.14

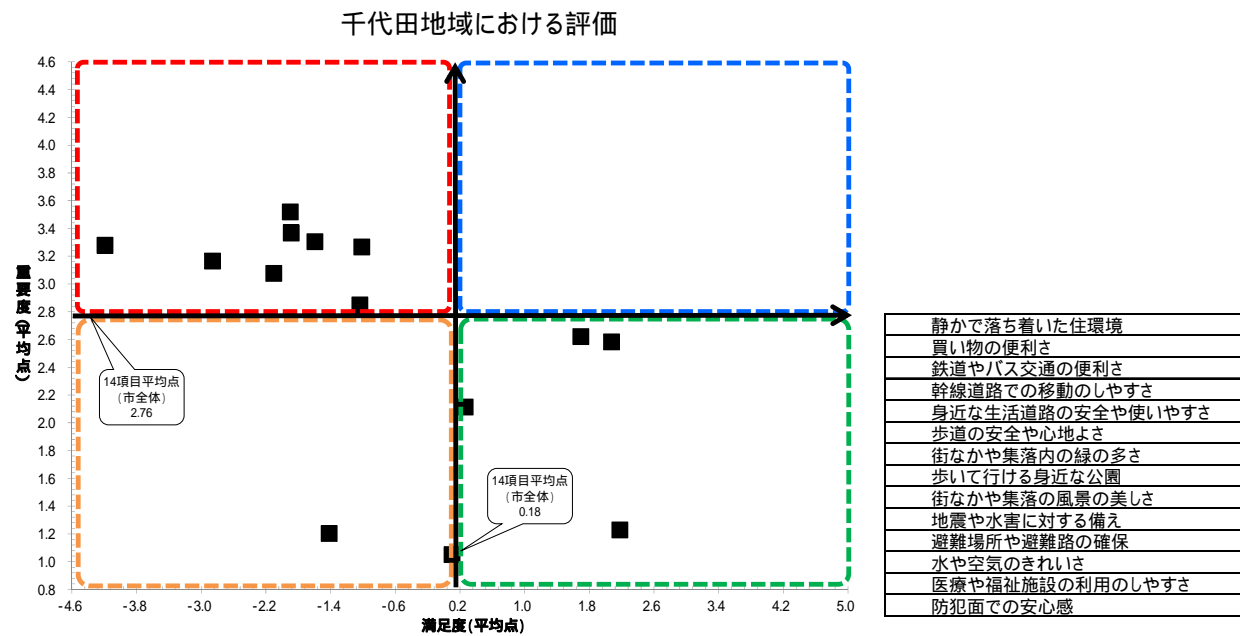
人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「買い物の便利さ」「鉄道やバス交通の便利さ」「医療や福祉施設の利用のしやすさ」「防犯面での安心感」などがあげられます。満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」「水や空気のきれいさ」があげられます。



地域の現状と課題

集落地における住環境の維持

地域の大部分が市街化調整区域であり、集落地が点在しています。地域の人口は過去10年間で約1%減少しています。地域の高齢化率は29.5%であり、市平均と比較しても高い割合になっています。「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」などに対する満足度が高くなっています。

良好な交通条件を生かした産業振興

地域の中央には工業団地が立地しています。地域を南北に(都)西尾張中央道が通っており、交通便利性に恵まれた状況にあります。

農地をはじめとする自然環境の保全

全体に水田が広がっており、自然豊かな地域となっています。

地域のまちづくり目標

千代田市民センター周辺に住宅地形成を図るまちづくりを目指します。工業集積により地域の活力を生むまちづくりを目指します。地域全体に広がる農地や河川などの自然環境に配慮したまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【地域交流拠点】

千代田市民センター周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

【工業・物流拠点】

生産・物流機能の誘導による工業集積を図ります。地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上を図ります。

土地利用

【工業地】

地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上を図ります。

【市街化調整区域】

営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

国・県へ一宮西港道路の整備について働きかけを行います。各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

大塚井筋において散策路の整備を促進します。新たに立地する工場の緑化を促進します。大江川沿い散策路の利用を促進します。旧尾張サイクリングロードの活用を検討します。河川の水質保全に努めます。

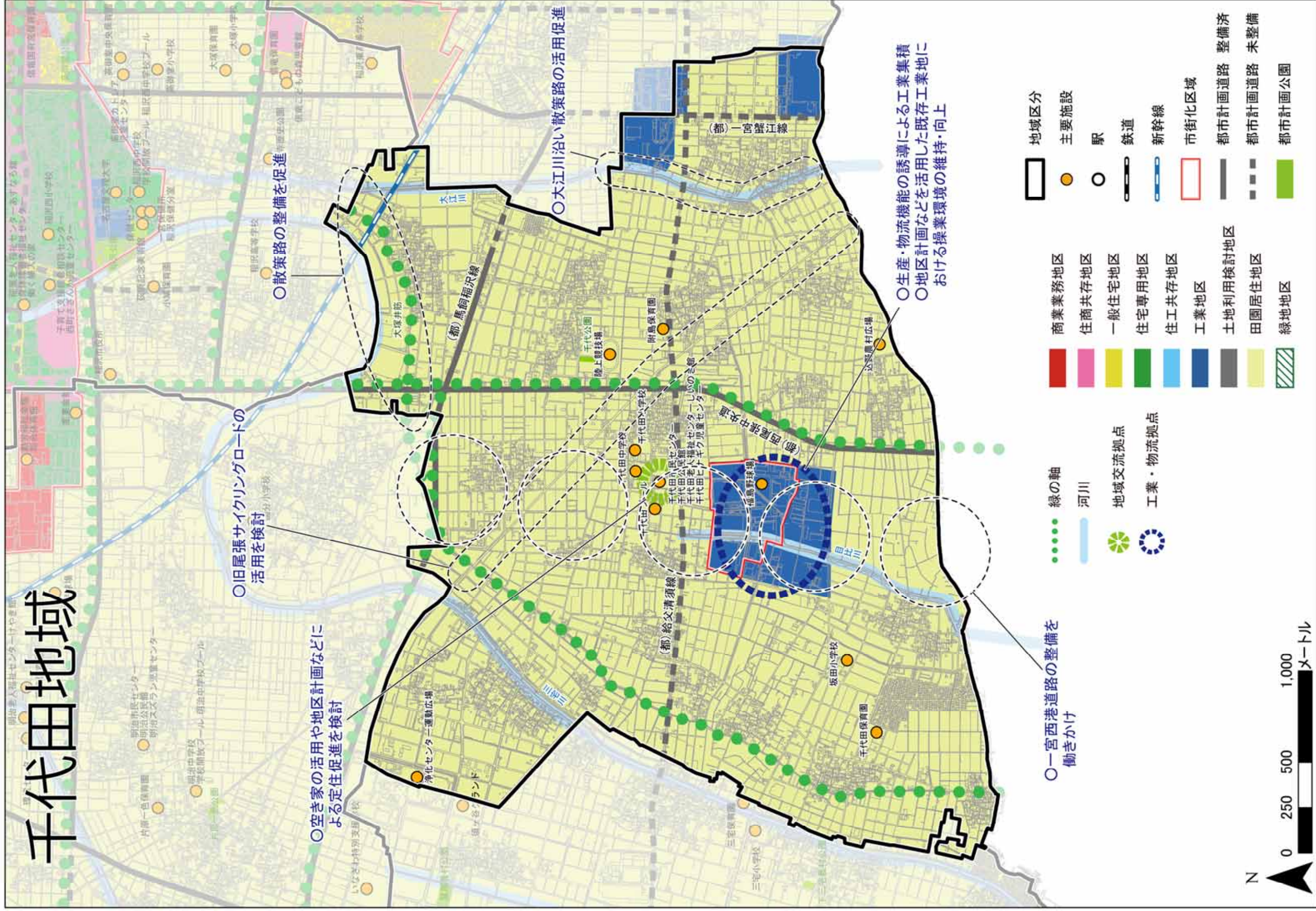
防災

県管理である目比川の改修促進について働きかけを行います。都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

農地景観の保全を図ります。

千代田地域



○旧尾張サイクリングロードの活用を検討

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

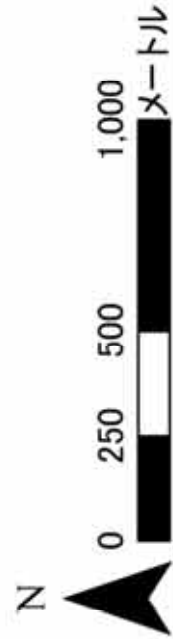
○散策路の整備を促進

○大江川沿い散策路の活用促進

○生産・物流機能の誘導による工業集積
○地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上

○一宮西港道路の整備を働きかけ

- 緑の軸
- 河川
- 地域交流拠点
- 工業・物流拠点
- 商業業務地区
- 住商共存地区
- 一般住宅地区
- 住宅専用地区
- 住工共存地区
- 工業地区
- 土地利用検討地区
- 田園居住地区
- 緑地地区
- 主要施設
- 駅
- 鉄道
- 新幹線
- 市街化区域
- 都市計画道路 整備済
- 都市計画道路 未整備
- 都市計画公園



(5) 大里西地域

地域特性

大里西地域は、市の南東部に位置し、あま市、清須市に隣接しています。
 地域東部に名鉄名古屋本線が通り、大里駅、奥田駅を有する名古屋への交通利便性の高い地域で、地域北部には大規模住宅団地がみられます。
 地域大半を占める市街化調整区域においては、住宅団地や大規模な集落が形成されています。
 歴史の古い社寺が地域内に分布しています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

	大里西地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)	533	7,935	6.7%
市街化区域	面積(ha)	45	898
	割合	8.4%	11.3%
人口(人)	11,878	137,432	8.6%
H18-28人口増減率	-5.0%	7.1%	-12.1%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	11.1%	13.2%
	15~64歳	55.8%	60.4%
	65歳~	33.2%	26.4%
世帯数(世帯)	4,748	53,854	8.8%
H18-28世帯増減率	7.9%	19.7%	-11.8%
世帯当たり人員(人/世帯)	2.50	2.55	-0.05

人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

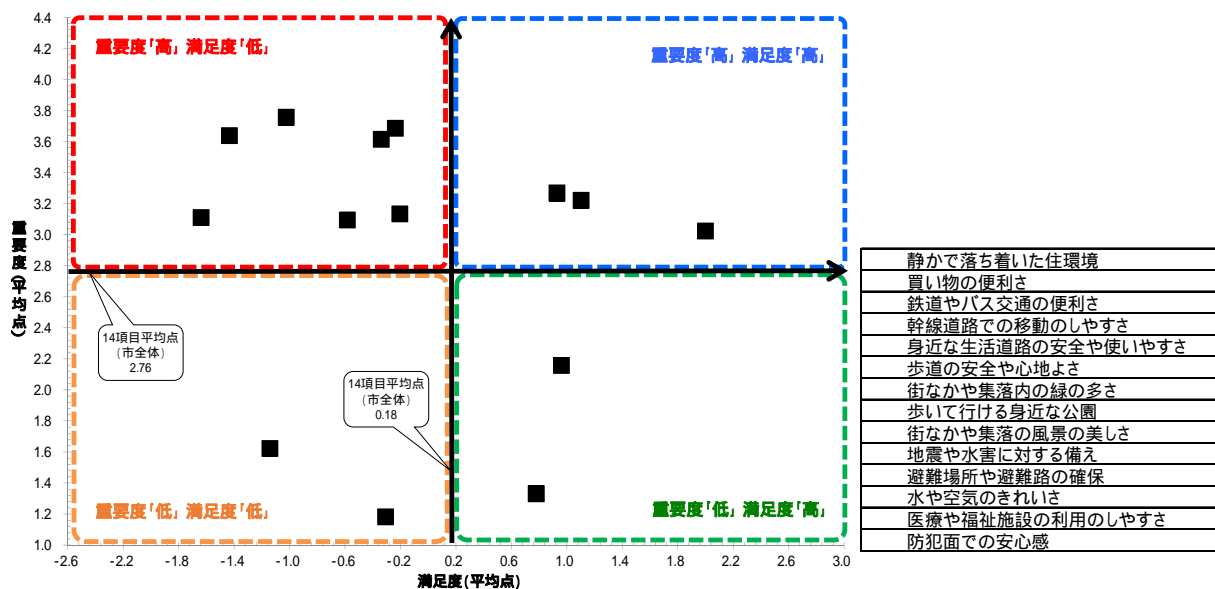
資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は、「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」などがあげられます。
 満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「買物の便利さ」「水や空気のきれいさ」「幹線道路での移動のしやすさ」「街なかや集落内の緑の多さ」があげられます。

大里西地域における評価



地域の現状と課題

人口減少・高齢化に対応した集落地における生活利便性の維持
 地域の人口は過去10年間で約5%減少しています。
 地域の高齢化率は33.2%であり、市平均と比較しても高い割合になっています。
 「静かで落ち着いた住環境」「街なかや集落内の緑の多さ」などに対する満足度が高くなっています。

整備完了から長期間経過した住宅団地における居住環境の維持・保全
 北西部の市街化区域における住宅地や南部の市街化調整区域における大規模住宅団地等で人口が減少しています。

地域の歴史の継承

地域には歴史の古い社寺が分布しています。

地域のまちづくり目標

落ち着いた良好な住環境を維持するとともに、大里西市民センターや名鉄大里駅及び名鉄奥田駅を中心とした快適な生活を送ることができるまちづくりを目指します。

基盤が整備された住宅地において継続的な土地利用ができるまちづくりを目指します。

地域の歴史を身近に感じることができるまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【地域交流拠点】

大里西市民センター周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

市街化調整区域に立地する鉄道駅(名鉄大里駅、名鉄奥田駅)の周辺では、鉄道の利便性を生かして、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

土地利用

【住宅地】

良好な住環境の維持・保全を図ります。

空き家の発生抑制や適正管理、利活用により、良好な住環境の維持を図ります。

【市街化調整区域】

営農環境と調和した住環境の保全に努めます。

交通体系

(都)春日井稲沢線の整備を促進します。

(都)井之口線の整備を推進します。

名鉄名古屋本線の高架化を促進します。

踏切の改良を促進します。

各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

住宅団地における都市公園の整備を推進します。

大江川沿い散策路の利用を促進します。

緑の軸である奥田線について、歩道の緑化を推進します。

下水道の整備を推進します。

防災

福田川の排水機能の向上に向けた整備について働きかけを行います。

河川の水質保全に努めます。

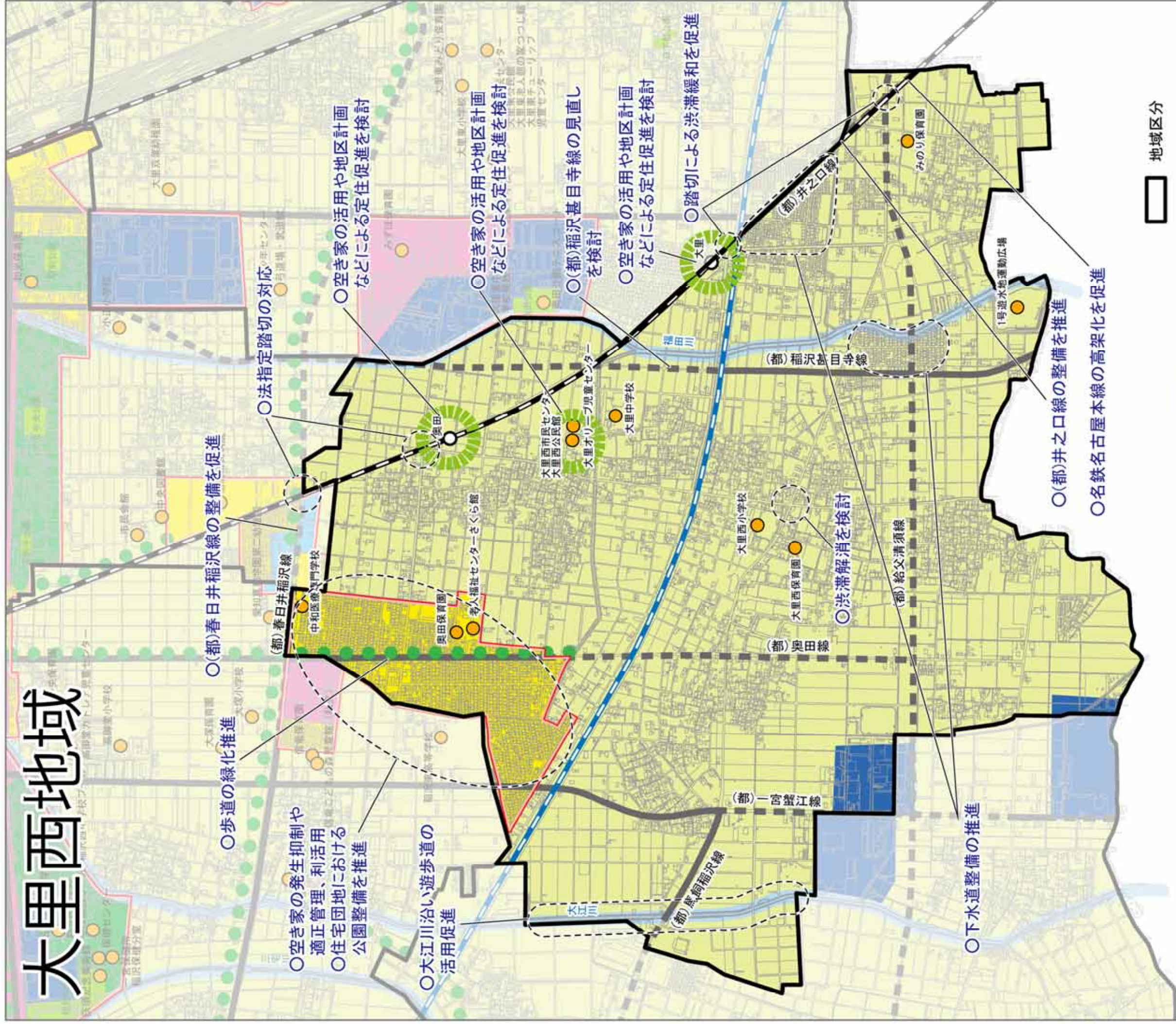
都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

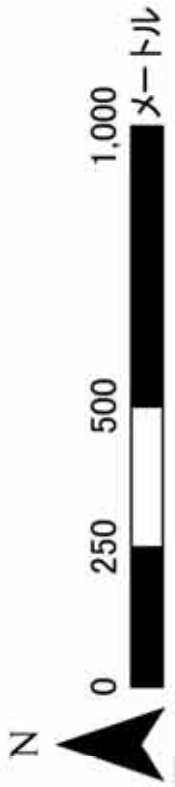
地域の歴史的資源の景観保全を検討します。

農地景観の保全を図ります。

大里西地域



- | | | |
|----------|---------|------------|
| 商業業務地区 | 商業業務地区 | 地域区分 |
| 住商共存地区 | 田園居住地区 | 主要施設 |
| 一般住宅地区 | 緑地地区 | 駅 |
| 住宅専用地区 | 緑の軸 | 鉄道 |
| 住工共存地区 | 河川 | 新幹線 |
| 工業地区 | 地域交流拠点 | 市街化区域 |
| 土地利用検討地区 | 工業・物流拠点 | 都市計画道路 整備済 |
| | | 都市計画道路 未整備 |
| | | 都市計画公園 |



(6) 大里東地域

地域特性

大里東地域は、市の東部に位置し、清須市に隣接しています。地域の西部に名鉄名古屋本線、東部にJR東海道本線が通り、名鉄大里駅、JR清洲駅を有する名古屋への交通利便性が高い地域です。駅を中心として住宅地、集落が形成され、地域中央には農地が広がっています。地域北西部には大規模工場が立地しています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

		大里東地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)		437	7,935	5.5%
市街化区域	面積(ha)	86	898	9.6%
	割合	19.6%	11.3%	8.3%
人口(人)		11,080	137,432	8.1%
H18-28人口増減率		-0.1%	7.1%	-7.2%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	12.8%	13.2%	-0.4%
	15~64歳	60.6%	60.4%	0.2%
	65歳~	26.6%	26.4%	0.2%
世帯数(世帯)		4,567	53,854	8.5%
H18-28世帯数増減率		10.9%	19.7%	-8.8%
世帯当たり人員(人/世帯)		2.43	2.55	-0.12

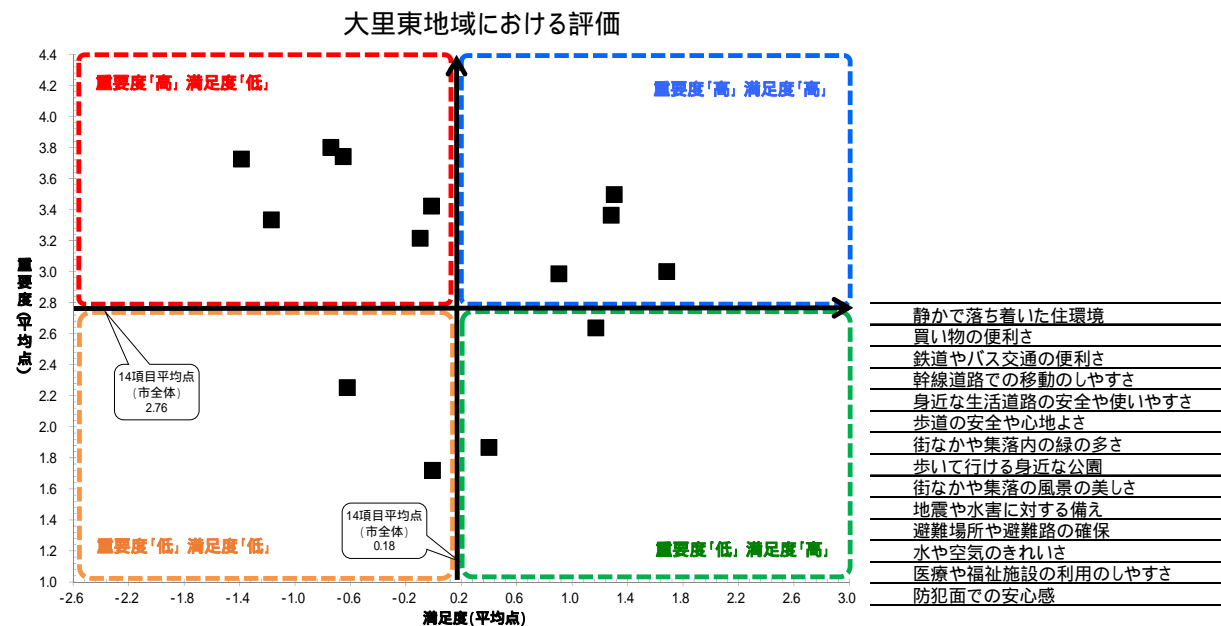
人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」「歩道の安全や心地よさ」「避難場所や避難路の確保」などがあげられます。満足度が高い項目としては、「静かで落ち着いた住環境」「鉄道やバスの便利さ」「買物の便利さ」「幹線道路での移動のしやすさ」「水や空気のかきれいさ」などがあげられます。



地域の現状と課題

鉄道の利便性を生かした居住環境の維持

名鉄大里駅とJR清洲駅があり、名古屋からのアクセス性に優れた地域です。

各鉄道駅周辺には、集落が形成されています。

地域の人口は過去10年間で大きな変化はないものの、名鉄大里駅及びJR清洲駅周辺で人口が減少しています。

地域の活力を生む産業立地の維持

地域北西部には大規模な工場が立地しています。

地域の歴史の継承

地域には歴史の古い社寺が分布しています。

地域のまちづくり目標

名鉄大里駅とJR清洲駅に近接するポテンシャルの高さを生かした良好な住宅地を形成するまちづくりを目指します。

工業集積により地域の活力を生むまちづくりを目指します。

地域の歴史を身近に感じることができるまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針

: 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【地域交流拠点】

大里東市民センター周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

市街化調整区域に立地する鉄道駅(名鉄大里駅、JR清洲駅)の周辺では、鉄道の利便性を生かして、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

【工業・物流拠点】

生産・物流機能の集積を図ります。

土地利用

【住宅地】

良好な居住環境の維持・保全に努めます。

【商業地】

生活利便性を支える商業機能の維持を図ります。

【工業地】

地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上を図ります。

【市街化調整区域】

営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

(都)春日井稲沢線の整備を促進します。

(都)井之口線の整備を推進します。

JR清洲駅の駅前広場の整備を推進します。

踏切の改良を促進します。

名鉄名古屋本線の高架化を推進します。

各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

下水道の整備を推進します。

河川の水質保全に努めます。

防災

福田川の排水機能の向上に向けた整備について働きかけを行います。

都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

地域の歴史的資源の景観保全を検討します。

農地景観の保全を図ります。

大里東地域

地域区分

主要施設

駅

鉄道

新幹線

市街化区域

都市計画道路 整備済

都市計画道路 未整備

都市計画公園

商業業務地区

住商共存地区

一般住宅地区

住宅専用地区

住工共存地区

工業地区

土地利用検討地区

田園居住地区

緑地区

緑の軸

河川

地域交流拠点

工業・物流拠点

○地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上

(都)名古屋岐阜線

大里双葉幼稚園

青少年センター

弓道場・武道館

(都)稲沢甚田寺線

○(都)春日井稲沢線の整備を促進

(都)春日井稲沢線

大里東みどり保育園

大里東小学校

大里東市民センター

大里東公民館

大里老人憩いの家つつし館

大里東コミュニティリビング原置せがた

大里東中学校

学校開放プール 大里東中学校プール

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

○地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上

(都)井之口線

○下水道整備の推進

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

○名鉄名古屋本線の高架化を推進

○(都)井之口線の整備を推進

○下水道整備の推進

○踏切による渋滞緩和を促進

大里東みどり保育園

大里東小学校

大里東市民センター

大里東公民館

大里老人憩いの家つつし館

大里東コミュニティリビング原置せがた

大里東中学校

学校開放プール 大里東中学校プール

○歴史的資源の景観保全の検討

日下部公園

○下水道整備の推進

○踏切の改良を促進

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

○駅前広場整備を推進



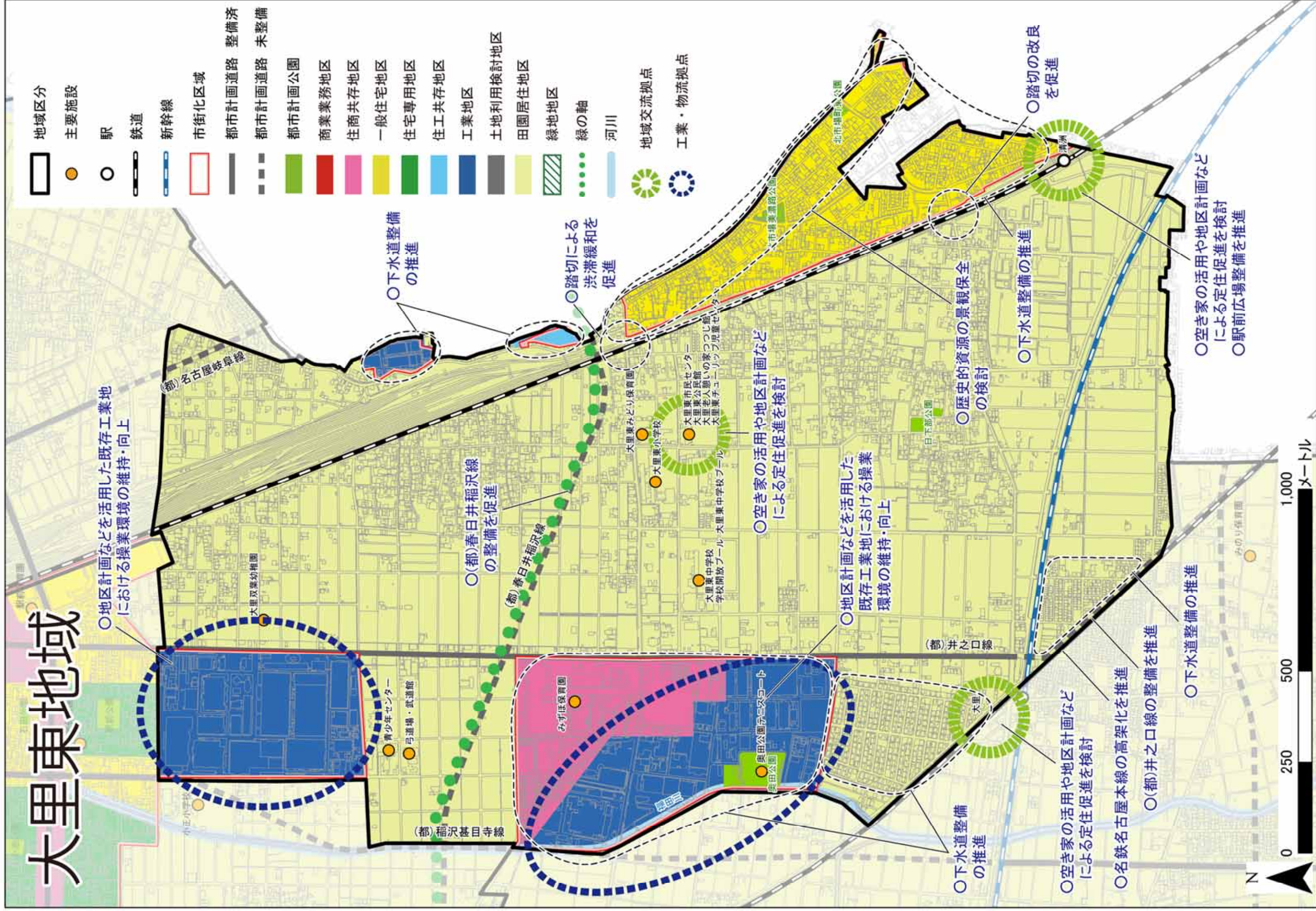
0

250

500

1,000

メートル



(7) 下津地域

地域特性

下津地域は、市の東部に位置し、一宮市と清須市に隣接しています。JR稲沢駅東側の土地区画整理事業により、大規模商業施設や大型マンションが立地しています。地域北東の一宮市側には一宮インターチェンジがあり、交通利便性の高い地域となっています。地域東部を流れる青木川を中心に農地が広がっています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

		下津地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)		414	7,935	5.2%
市街化区域	面積(ha)	65	898	7.2%
	割合	15.7%	11.3%	4.4%
人口(人)		11,476	137,432	8.4%
H18-28人口増減率		67.6%	7.1%	60.5%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	20.5%	13.2%	7.3%
	15~64歳	62.2%	60.4%	1.8%
	65歳~	17.2%	26.4%	-9.2%
世帯数(世帯)		4,139	53,854	7.7%
H18-28世帯数増減率		79.4%	19.7%	59.7%
世帯当たり人員(人/世帯)		2.77	2.55	0.22

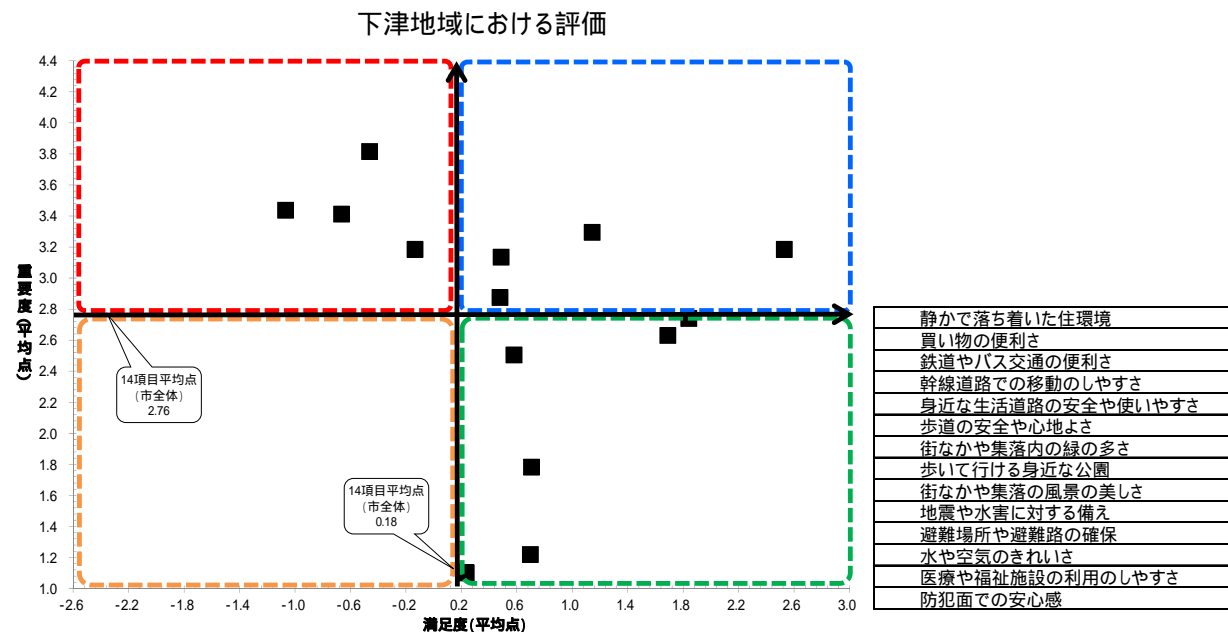
人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「防犯面での安心感」「地震や水害に対する備え」「避難場所や避難路の確保」などがあげられます。満足度が高い項目としては、「買物の便利さ」「幹線道路での移動のしやすさ」「静かで落ち着いた住環境」「鉄道やバスの便利さ」などがあげられます。



地域の現状と課題

新たに整備された都市機能や居住機能が集積した市街地の維持・充実
JR稲沢駅東側の土地区画整理事業により大規模商業施設や大型マンションが立地しています。
地域の人口は、過去10年間で著しく増加しています。
「買物の便利さ」「幹線道路での移動のしやすさ」に対する満足度が高くなっています。

自然豊かな集落地における居住環境の維持
地域東部に流れる青木川を中心に農地が広がっています。
市街化調整区域には集落地が分布しています。
「静かで落ち着いた住環境」に対する満足度が高くなっています。

良好な交通条件を生かした産業振興
地域の北東に一宮インターチェンジがあり、交通利便性の高い地域となっています。
地域北部のJR東海道本線沿いに工業団地が立地しています。

地域のまちづくり目標

JR稲沢駅を中心とした便利でにぎわいのあるまちづくりを目指します。
市街化調整区域の自然豊かな居住環境が維持され、生活利便性の良さを生かしたまちづくりを目指します。
一宮インターチェンジとの近接性を生かし、更なる工業集積による活力あるまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【都市交流拠点】
商業施設をはじめとする都市機能の維持を図ります。
民間のアリーナやフィットネスロードの活用によるスポーツを通じた交流を促進します。
【地域交流拠点】
下津市民センター周辺では、人口集約を図るため、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。
【工業・物流拠点】
生産・物流機能の集積を図ります。

土地利用

【住宅地】
まちなか居住を促進する新たな市街地整備を図ります。
良好な居住環境の維持・保全を図ります。
【商業地】
大規模商業施設など集積の維持を図ります。
【工業地】
一宮インターチェンジに近接するなど、立地特性を生かした産業立地を推進します。
既存工業地における操業環境の維持を図ります。
【市街化調整区域】
営農環境と調和した居住環境の保全に努めます。

交通体系

隣接する一宮市をつなぐ(都)稲沢西春線の整備について働きかけを行います。
各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

河川の水質保全に努めます。

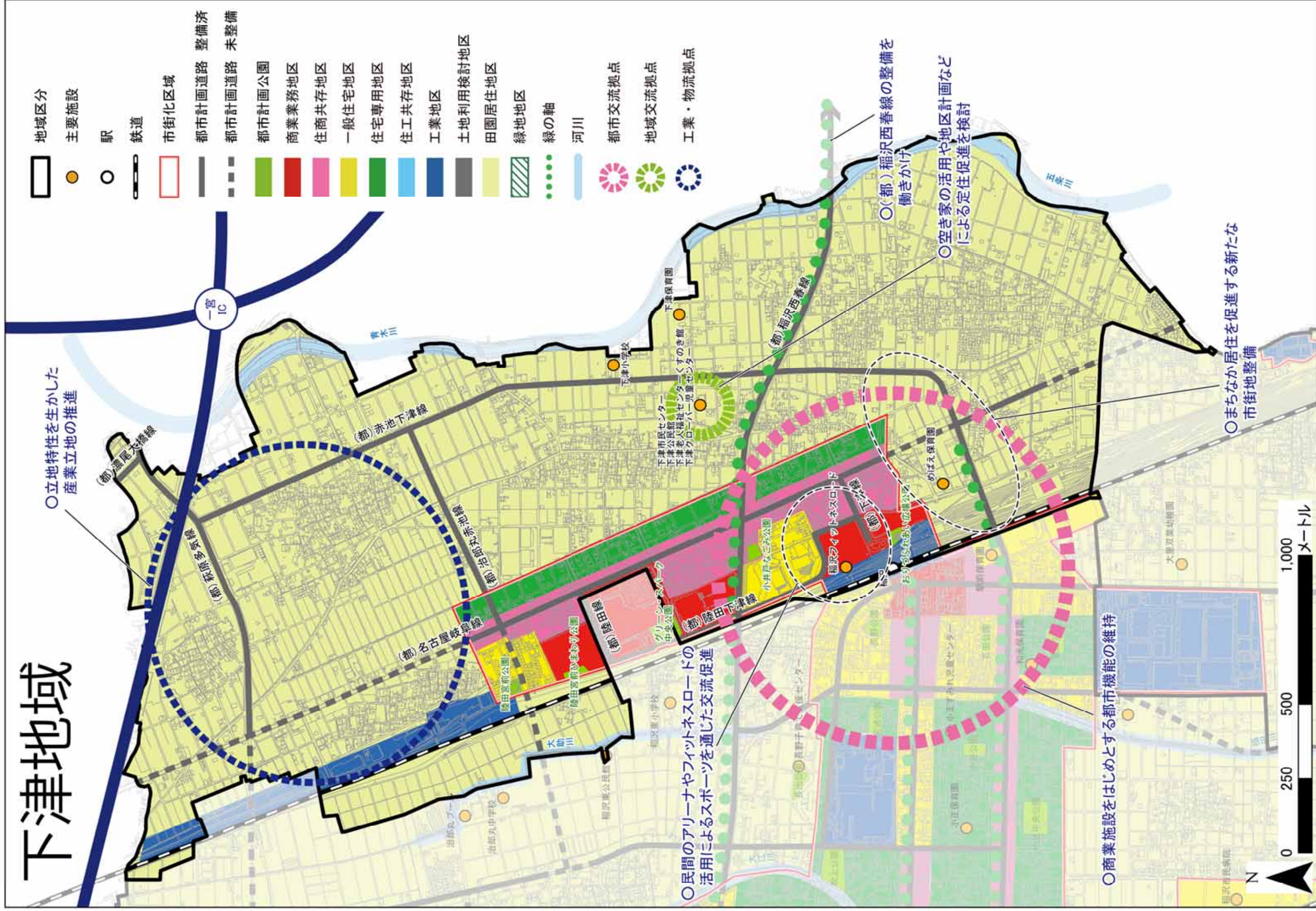
防災

都市化に対応した雨水対策の強化を図ります。
都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

都市交流拠点にふさわしい景観形成を検討します。
農地景観の保全を図ります。

下津地域



- 地域区分
- 主要施設
- 駅
- 鉄道
- 市街化区域
- 都市計画道路 整備済
- 都市計画道路 未整備
- 都市計画公園
- 商業業務地区
- 住商共存地区
- 一般住宅地区
- 住宅専用地区
- 住工共存地区
- 工業地区
- 土地利用検討地区
- 田園居住地区
- 緑地区
- 緑の軸
- 河川
- 都市交流拠点
- 地域交流拠点
- 工業・物流拠点

○立地特性を生かした産業立地の推進

○民間のアリーナやフィットネスロードの活用によるスポーツを通じた交流促進

○商業施設をはじめとする都市機能の維持

○(都)稲沢西春線の働きかけ

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

○まちなか居住を促進する新たな市街地整備



(8) 小正地域

地域特性

小正地域は、市の北東部に位置し、一宮市に隣接しています。地域の中央には、多数の参拝者が訪れる尾張大國霊神社(国府宮)があります。その南側では閑静な住宅街が広がっています。

地域の東西には、名鉄国府宮駅とJR稲沢駅があり、交通利便性の高い地域となっています。また、地域北部には名鉄島氏永駅があります。大江川沿いには畑が、鉄道沿いには水田が広がっています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

	小正地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)	470	7,935	5.9%
市街化区域	面積(ha)	180	20.0%
	割合	38.2%	11.3% 26.9%
人口(人)	21,977	137,432	16.0%
H18-28人口増減率	43.3%	7.1%	36.2%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	13.2%	13.2% 0.0%
	15~64歳	64.1%	60.4% 3.7%
	65歳~	22.7%	26.4% -3.7%
世帯数(世帯)	9,374	53,854	17.4%
H18-28世帯増減率	46.6%	19.7%	26.9%
世帯当たり人員(人/世帯)	2.34	2.55	-0.21

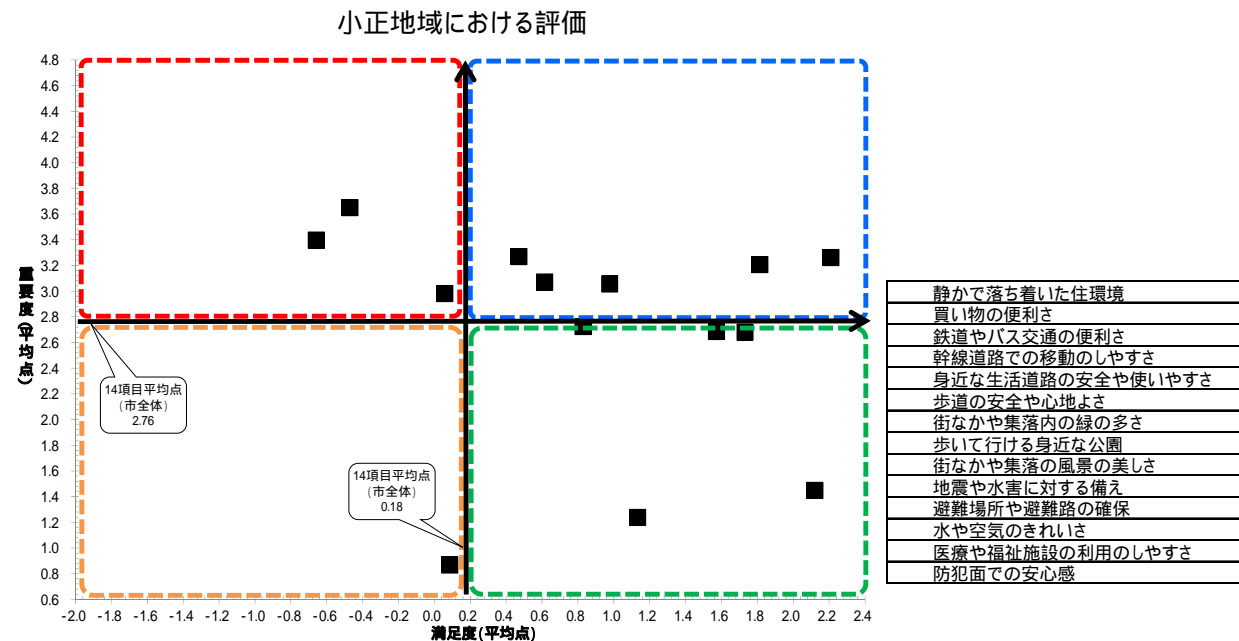
人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価

市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は、「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」などがあげられます。満足度が高い項目としては、「鉄道やバスの便利さ」「歩いて行ける身近な公園」「買物の便利さ」「幹線道路での移動のしやすさ」「静かで落ち着いた住環境」などがあげられます。



地域の現状と課題

公共交通の利便性を生かした住宅地の創出

地域の東西には、名鉄国府宮駅とJR稲沢駅があり、交通利便性の高い地域となっています。

「鉄道やバスの便利さ」や「買物の便利さ」に対する満足度が高くなっています。

尾張大國霊神社(国府宮)を生かした交流の促進

地域の中央には、多数の参拝者が訪れる尾張大國霊神社(国府宮)があります。

緑の保全・活用について、「国府宮をはじめとした寺社の緑」に対する市民意向が高くなっています。

自然豊かな集落地の住環境の維持

地域北部には、まとまった農地が広がっています。

市街化調整区域には集落地が分布しています。

「静かで落ち着いた住環境」に対する満足度が高くなっています。

市街化区域の閑静な住宅街の維持

交通利便性の高い市街化区域でありながら、一部の住宅地では人口が減少している地区がみられます。

地域のまちづくり目標

公共交通の利便性を生かした、若者にも魅力的な新たな住宅地形成を図るまちづくりを目指します。

尾張大國霊神社(国府宮)を生かし、多くの観光客が歴史・文化を楽しめるまちづくりを目指します。

市街化調整区域の自然豊かな居住環境が維持され、生活利便性の良さを生かしたまちづくりを目指します。

閑静な住宅街で今後も落ち着いた暮らしができるまちづくりを目指します。

地域のまちづくり方針

: 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【都市中心拠点】

名鉄国府宮駅周辺における再整備による都市機能の充実を図ります。名鉄名古屋本線の高架化による駅周辺の一体的なまちづくりを推進します。

【都市交流拠点】

商業施設をはじめとする都市機能の維持を図ります。

民間のアリーナやフィットネスクラブの活用によるスポーツを通じた交流を促進します。

【地域交流拠点】

小正市民センター周辺では、空き家の活用などにより定住人口の維持を図ります。

市街化調整区域に立地する名鉄島氏永駅の周辺では、鉄道の利便性を生かし、空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討します。

【文化交流拠点】

公共公益機能の維持を図ります。

【歴史・観光拠点】

尾張大國霊神社(国府宮)周辺と参道を生かした交流促進のための環境整備を検討します。

土地利用

【住宅地】

まちなか居住を促進する新たな市街地整備を図ります。良好な住環境の維持・保全を図ります。

【商業地】

JR 稲沢駅周辺への商業機能の誘導を検討します。

【市街化調整区域】

営農環境と調和した住環境の保全に努めます。

交通体系

(都)春日井稲沢線、(都)稲沢西春線の整備を促進します。名鉄名古屋本線の高架化実現に向けた取組みを進めます。

(都)中大通線及び(都)南大通線は、都市拠点間のアクセス利便性の向上を検討します。

踏切の改良を促進します。

各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅周辺における緑の保全を図ります。

都市公園の老朽化に伴い、再整備を検討します。

河川の水質保全に努めます。

防災

福田川の排水機能の向上に向けた整備について働きかけを行います。

都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

尾張大國霊神社(国府宮)周辺の景観形成を検討します。

都市中心拠点及び都市交流拠点にふさわしい景観形成を検討します。農地景観の保全を図ります。

小正地域

○空き家の活用や地区計画などによる定住促進を検討

○(都)稲沢西春線の整備を促進

○尾張大國神社(国府宮)と参道を生かした交流促進のための環境整備を検討

○駅周辺における再整備による都市機能の充実
○名鉄名古屋本線の高架化実現に向けた取り組み

○公共公益施設の維持
○空き家の活用などによる定住人口を維持

○まちなか居住を促進する新たな市街地整備

○公共公益機能の維持

○法指定踏切の対応

○交差点改良の検討

○商業施設をはじめとする都市機能の維持

○駅周辺への商業機能の誘導を検討

○都市拠点間のアクセス利便性の向上を検討

○(都)春日井稲沢線の整備を促進



(9) 稲沢地域

地域特性

稲沢地域は、市の中央部に位置しており、名鉄国府宮駅を中心に商業地を形成しています。

地域の西端には市役所があり、生活利便性の高い地域です。

地域の中央を三宅川が流れているほか、文化の杜である稲沢公園、美術館周辺には大学もあり、緑豊かな文化発信地域となっています。

地域の現況(2018(平成30)年1月現在)

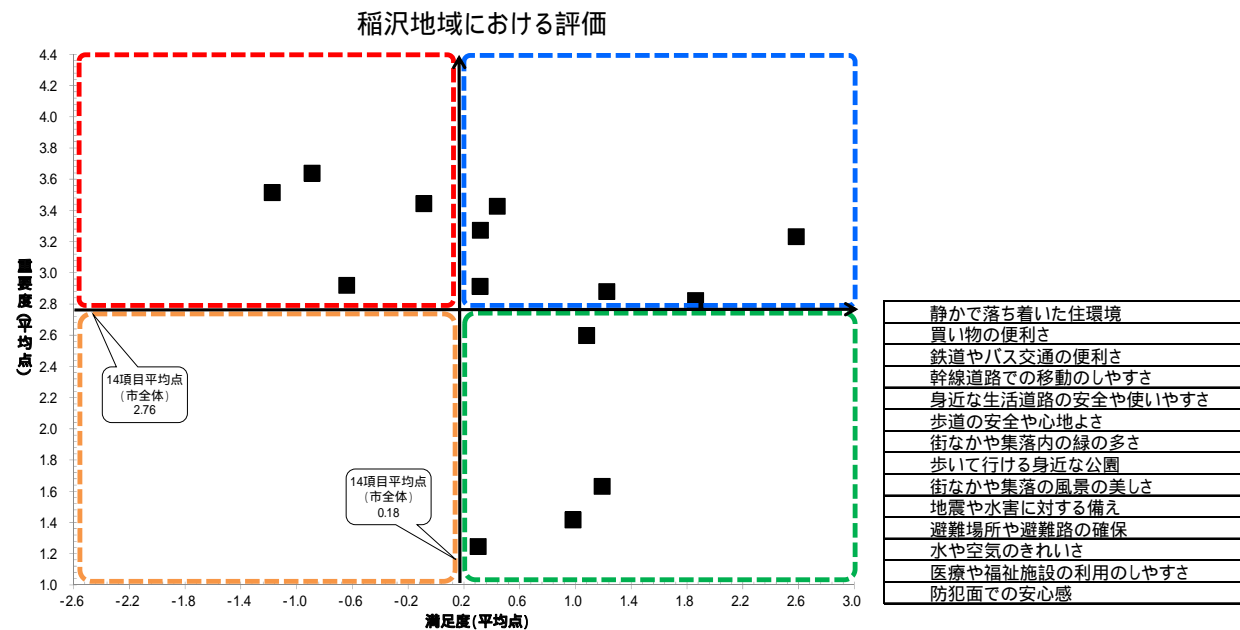
		稲沢地域	市全域	市全域に対する割合 (網掛け:市平均との差)
地域面積(ha)		797	7,935	10.0%
市街化区域	面積(ha)	232	898	25.8%
	割合	29.1%	11.3%	17.8%
人口(人)		25,406	137,432	18.5%
H18-28人口増減率		0.4%	7.1%	-6.7%
年齢3区分別 人口構成比	0~14歳	13.6%	13.2%	0.4%
	15~64歳	62.5%	60.4%	2.1%
	65歳~	23.9%	26.4%	-2.5%
世帯数(世帯)		10,690	53,854	19.8%
H18-28世帯増減率		10.8%	19.7%	-8.9%
世帯当たり人員(人/世帯)		2.38	2.55	-0.17

人口及び世帯数の増減率は2006(平成18)年、2016(平成28)年の10月1日現在)

資料:住民基本台帳

地域の評価 市民アンケート調査(平成29年12月実施)

市平均と比較して、重要度が高いにも関わらず満足度が低い項目は、「地震や水害に対する備え」「防犯面での安心感」などがあげられます。満足度が高い項目としては、「買物の便利さ」「静かで落ち着いた住環境」「水や空気のきれいさ」「歩いて行ける身近な公園」「幹線道路での移動のしやすさ」「街なかや集落内の緑の多さ」などがあげられます。



地域の現状と課題

名鉄国府宮駅周辺における都市機能の集積

名鉄国府宮駅を中心に商業地を形成しています。

鉄道の利便性を生かした住宅地の創出

地域東部には、名鉄国府宮駅があり、名古屋からのアクセス性に優れた地域となっています。

集積する公共施設や大型商業施設の維持

地域の西端には市役所があり、その周辺には警察署や郵便局などの公共施設や大規模商業施設が集積しています。

地域の中央には文化の杜である稲沢公園、美術館、大学があり、緑豊かな文化発信地域となっています。

静かで落ち着いた住環境の維持・改善

市街化区域の一部では、古くからのまちなみが残っています。

市街化調整区域には集落地が分布しています。

「静かで落ち着いた住環境」に対する満足度が高くなっています。

地域のまちづくり目標

名鉄国府宮駅周辺において市民の生活の中心となるまちづくりを目指します。

公共交通の利便性を生かした、若者にも魅力的な新たな住宅地を形成するまちづくりを目指します。

市役所周辺において都市機能の集積が維持できるまちづくりを目指します。

豊かな自然や歴史を感じる住宅地の形成を目指します。

地域のまちづくり方針 : 地域別WS意見反映

都市構造(拠点配置)

【都市中心拠点】

名鉄国府宮駅周辺における再整備による都市機能の充実を図ります。名鉄名古屋本線の高架化による駅周辺の一体的なまちづくりを推進します。

【生活交流拠点】

公共施設や商業施設などの都市機能の維持を図ります。

【地域交流拠点】

稲沢市民センター周辺では、空き家の活用などにより定住人口の維持を図ります。

【文化交流拠点】

公共施設機能の維持を図ります。

土地利用

【住宅地】 まちなか居住を促進する新たな市街地整備を図ります。

良好な住環境の維持・保全を図ります。

【商業地】

駅周辺に商業機能の誘導を図ります。

【市街化調整区域】

営農環境と調和した住環境の保全に努めます。

交通体系

名鉄名古屋本線の高架化実現に向けた取組みを進めます。

交通結節機能の強化のため、名鉄国府宮駅における駅前広場の再整備を推進します。

(都)稲沢西春線の整備を促進します。

(都)中大通線及び(都)南大通線は、生活交流拠点と都市中心のアクセス利便性の向上を検討します。

踏切の改良を促進します。

名鉄国府宮駅周辺を中心にバリアフリー化に努めます。

国・県へ一宮西港道路の整備について働きかけを行います。

各拠点へのアクセスに配慮した公共交通環境の整備に努めます。

都市環境

(仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの整備を推進します。

稲沢公園の魅力を高めるため民間事業者の活用を検討します。

三宅川及び大江川沿いにおける水と緑のネットワークづくりを検討します。

(都)奥田線における歩道の緑化を推進します。

下水道の整備を推進します。

河川の水質保全に努めます。

防災

市役所を中心に災害対策拠点としての強化を図ります。

雨水調整池の整備を検討するなど、冠水対策を推進します。

県管理である三宅川の改修促進について働きかけを行います。

狭あい道路の解消について検討します。

都市公園における防災関連施設の導入を検討します。

景観

地域の歴史的資源の景観保全を検討します。

都市中心拠点にふさわしい景観形成を検討します。

農地景観の保全を図ります。

稲沢地域

- 商業業務地区
- 住商共存地区
- 一般住宅地区
- 住宅専用地区
- 住工共存地区
- 工業地区
- 土地利用検討地区
- 田園居住地区
- 緑地地区

- 都市中心拠点
- 生活交流拠点
- 地域交流拠点
- 文化交流拠点

- 緑の軸
- 河川

- 公共施設や商業施設などの都市機能の維持
- 下水道整備の推進
- 空き家の活用などにより定住人口を維持

- 再整備による都市機能の充実
- 名鉄名古屋本線の高架化による駅周辺の一体的なまちづくり
- 駅周辺に商業機能の誘導
- バリアフリー化を検討
- 駅前広場の再整備による交通結節機能の強化

- まちなか居住を促進する新たな市街地整備

- 空き家の活用などにより定住人口を維持

- (都)稲沢西春線の整備を促進

- (仮称)美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの整備

- 法指定踏切の対応

- 災害対策拠点としての強化

- 公共公益機能の維持

- 水と緑のネットワークづくりを検討

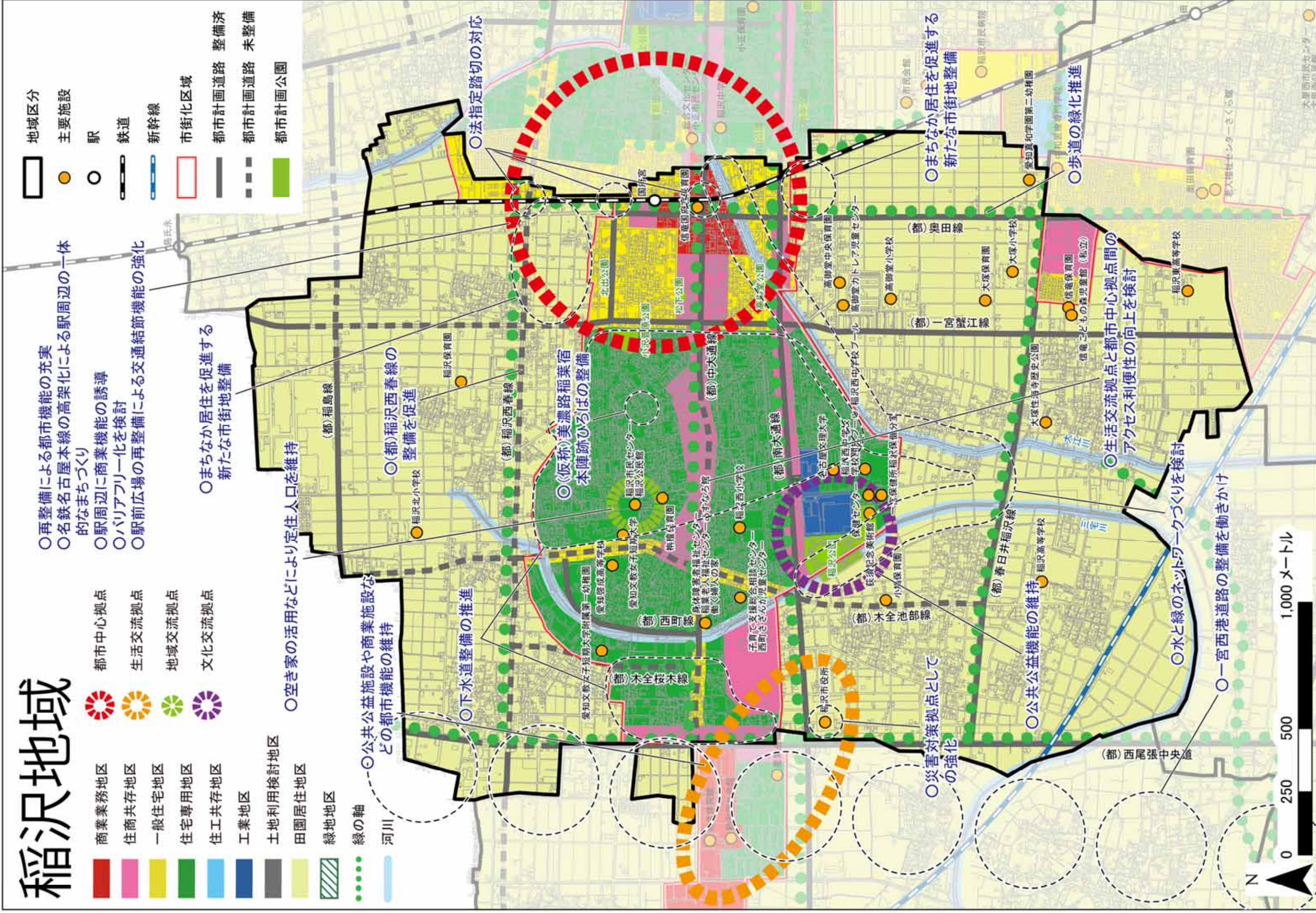
- 一宮西港道路の整備を働きかけ

- まちなか居住を促進する新たな市街地整備

- 歩道の緑化推進

- 生活交流拠点と都市中心拠点間のアクセス利便性の向上を検討

- 地域区分
- 主要施設
- 駅
- 鉄道
- 新幹線
- 市街化区域
- 都市計画道路 整備済
- 都市計画道路 未整備
- 都市計画公園



0 250 500 1,000メートル